

能登半島地震

17期 みずぐち けんぞう
水口 健三

2024 年元旦早々に起きた能登半島地震は深い爪痕を残した。被災された皆様の早期復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

北辰会 26 期の U さんには自宅が被災し停電、断水が続いた。身を立て会社生活を終え故郷に錦を飾ってこれから平穏な老後を迎えようとした時だったと想像する。

早速、U さんの有志から支援金の依頼が私の所に来ました。直ぐに賛同致しました。

先日、U さんから丁重な礼状が届いた。文面に一步一步前進する強い決意が伺える。

先日、石川県内向けテレビの放映の中に、昭和 37 年頃の奥能登地方の話があった。7 歳の娘と 4 歳の弟に見送られ、母親が滋賀県の製糸工場に出稼ぎに行く汽車の出発する時の映像、母親と姉弟の表情が拡大されて映っていた。思わず目頭があつくなった。地域によっては出稼ぎの習慣があった。



U さん被災状況の一部：

蔵が壊れ 2 階の床が脱けた。母屋は土台が基礎からずれ、柱は傾き倒壊の危険ありと診断